



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市鶴見区尻手2丁目計画新築工事	階数	地上7F
建設地	横浜市鶴見区尻手2丁目354-1, 355	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	209 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2026年1月30日
敷地面積	2,281 m <sup>2</sup>	作成者	富田 健一郎
建築面積	989 m <sup>2</sup>	確認日	2026年1月30日
延床面積	5,574 m <sup>2</sup>	確認者	富田 健一郎

外観パース等(任意)

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 94%  
③上記+②以外の 94%  
④上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	横浜市鶴見区に計画された地上7階建て、RC造の共同住宅 室内環境とエネルギー負荷低減に配慮した計画とした	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	室内の化学汚染物質低減に配慮した計画としている	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
<b>LR1 エネルギー</b>	外皮最不利住戸UA値=0.87、住棟でのBEE=0.89を達成	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物以下となる計画としている
<b>Q2 サービス性能</b>	維持管理や耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材や配管を採用している	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	ODP=0.01未満の発泡剤を用いた断熱材を使用している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



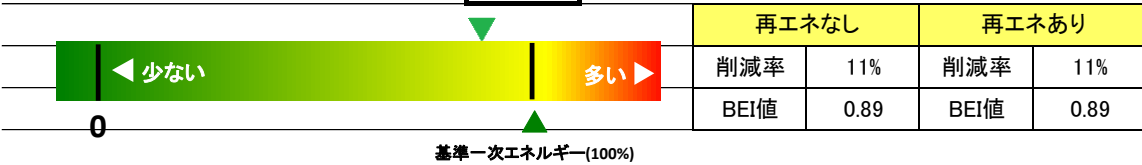
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅> 受付日 2025年2月2日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜市鶴見区尻手2丁目 計画 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

##### ■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 **11** %削減



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 3

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

各住戸外皮UA値0.61~0.87を達成

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

補修・更新間隔が長い外壁材・内装仕上げ材を採用している

防災備蓄品等が収納できる備蓄倉庫を計画している

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

敷地の植栽条件に応じた緑地づくりを行なっている

##### 太陽光発電などの導入

— — —

##### エネルギーマネジメントシステム導入

— — —

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

— — —



CASBEE横浜2025年版v1.0

(仮称)横浜市鶴見区尻手2丁目計画 新築工事

バージョン

CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q 建築物の環境品質</b>				-	-	-
<b>Q1 室内環境</b>				-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	-
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	0.38	-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.4</b>
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.30	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	1.0	0.30	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	-
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.8</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	5.0	0.50	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	0.50	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50	-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.6</b>	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				<b>3.0</b>	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災	⑮信頼性	4.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災	⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防災	⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>2.2</b>	0.50	-
1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				-	-	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				-	-	<b>3.0</b>	0.50	-

3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.3
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	18生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	19まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	20地域性への配慮	3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	14敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.0
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	2.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	1建物熱負荷抑制	3.0	0.20	-	3.0
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	2自然エネルギー利用	2.0	0.10	-	2.0
3	設備システムの高効率化			3.1	0.50	-	3.1
	集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	-	-	-	-
	集合住宅の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	3.1	1.00	-	-
4	効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用	-	-	-	-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50	-	-
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水		4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>							
<b>&lt;事務用途&gt;</b>							
	知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	13知的生産性向上への取組	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>							
<b>健康と安心</b>							
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	7防犯対策	1.0	-	-	-